

平成29年度

運営に関する計画

(最終評価)

大阪市立加美南部小学校

大阪市立加美南部小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童は、素直で子どもらしさにあふれる反面、自ら進んで意欲的に学習したり、物事を正しく判断して行動したりする面は弱い。また、不登校や遅刻、登校しても集団になじめない児童も見受けられ、家庭との連携を含めた生活指導が不可欠である。

知育面では、習熟度別少人数指導や校内授業研究など校内指導や研究の充実を図ってきている。しかし、基礎・基本の定着がまだまだ十分とはいえない。そこで、反復練習やきめ細かな指導に力を注いでいく必要がある。また、研究を進めている国語科においては、言語活動を活発にすることやコミュニケーション力を高めることをめざし、物語文への読解力向上に取り組みが求められる。

徳育面では、「自己肯定感」や「自尊感情」の認識があまりなく、自分の良さや自分らしさに自信をもてない児童が多い。学校生活のあらゆる機会をとらえて、その子の存在を認めていくことが必要である。また、豊かな心を育てるための様々な施策を考え、たてわり班活動や体験活動、飼育・栽培活動を中心に実践していく必要がある。

体育面では、平成28年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果、「50m走」以外では男女とも全国平均を下回った。「長座体前屈」や「立ち幅とび」、「反復横とび」の数値が特に低い。走力だけでなく児童の総合的な体力・運動能力向上をめざし、年間を通じて運動に親しませる習慣の定着を図ることが課題である。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- 平成29年度～32年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成32年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
- 平成32年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる(仲の良い)友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 平成32年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を75%以上にする。
- 平成32年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化(校内環境)に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を80%以上にする。
- 平成32年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、自分からあいさつができてきている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を80%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、平成 28 年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと)
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント減少させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率 8 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント増加させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査、(校内調査)における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、平成 28 年度より増加させる。
- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である(反復横とびと立ち幅とび)の平均の記録を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。
- 平成 32 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」と答える児童の割合を 80% 以上にする。
- 平成 32 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」と答える児童の割合を 90% 以上にする。
- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平成 28 年度より 3 ポイント向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

全市共通目標(小・中学校)

- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 80% 以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 平成 29 年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる(仲の良い)友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 80% 以上にする。
- 平成 29 年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 70% 以上にする。
- 平成 29 年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化(校内環境)に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75% 以上にする。
- 平成 29 年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができています」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75% 以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと）
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 8 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、前年度より 3 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 平成 29 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75% 以上にする。
- 平成 29 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90% 以上にする。
- 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度より向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、**解消した割合を 95% 以上にする。**
100% 解消 : 目標どおりに達成した
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を **80% 以上にする。**
平成 28 年度 84.1% 平成 29 年度 88.0% : 目標を上回って達成した
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を **前年度より減少** させる。
0 名 ⇒ 0 名 : 目標どおりに達成した
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を **前年度より減少** させる。
1 名 ⇒ 1 名 : 取り組んだが目標を達成できなかった

学校園の年度目標

- 平成 29 年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を **80% 以上にする。**
1 学期末：91.3% 2 学期末：91.8% : 目標を上回って達成した
- 平成 29 年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を **70% 以上にする。**
1 学期末：75.5% 2 学期末：78.5% : 目標を上回って達成した
- 平成 29 年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」

の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。

1学期末：87.1% 2学期末：93.3% :目標を上回って達成した

- 平成29年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができてい
る」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。

1学期末：84.5% 2学期末：89.2% :目標を上回って達成した

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標 (小・中学校)

- 平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと)

3年… 100.0 ⇒ 102.6 :目標を上回って達成した

4年… 94.8 ⇒ 95.9 :目標どおりに達成した

5年… 97.2 ⇒ 95.9 :取り組んだが目標を達成できなかった

6年… 96.1 ⇒ 107.9 :目標を上回って達成した

学校全体… 97.3 ⇒ 101.3 :目標どおりに達成した

- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率5割以下の児童を同一の母集団で比較し、い
ずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。

3年⇒4年… 4% ⇒ 6% :取り組んだが目標を達成できなかった

4年⇒5年… 9% ⇒ 12% :取り組んだが目標を達成できなかった

5年⇒6年… 14% ⇒ 3% :目標を上回って達成した

- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率8割以上の児童を同一の母集団で比較し、い
ずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。

3年⇒4年… 50% ⇒ 32% :取り組んだが目標を達成できなかった

4年⇒5年… 39% ⇒ 31% :取り組んだが目標を達成できなかった

5年⇒6年… 32% ⇒ 70% :目標を上回って達成した

- 平成29年度の小学校学力経年調査(校内調査)における「学級の友達との間で話し合う活動を通
じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答
する児童の割合を、前年度より増加させる。

平成28年度 66.2% 平成29年度 68.8% :目標を上回って達成した

- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である(反復横とびと
立ち幅とび)の平均の記録を、前年度より3ポイント向上させる。

反復横とび 平成28年度 36回 平成29年度 39回 :目標どおりに達成した

立ち幅とび 平成28年度 127.2cm 平成29年度 152.3cm :目標を上回って達成した

学校園の年度目標

- 平成29年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児
童の割合を75%以上にする。

1学期末：84.6% 2学期末：89.5% :目標を上回って達成した

- 平成29年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児
童の割合を90%以上にする。

1学期末：93.2% 2学期末：95.3% :目標を上回って達成した

- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度より向上
させる。

平成28年度 51.0 平成29年度 52.6 :目標どおりに達成した

今年度、大阪市教育振興基本計画における2つの最重要目標（①子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現・②心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上）の達成に向けて取組をすすめた結果、年度目標においては、①については、**8項目中7項目**を、また、②については、**8項目中6項目**を、目標を上回って達成した、または、目標どおりに達成することができた。

年度目標の達成に向けた取組内容（6施策）については、取組内容の指標をほとんどすべて達成することができた。

子どもたちは、日々、明るく元気に学校生活を送っている。学校アンケート（保護者・児童対象）結果からも、あらゆる面において、健やかに成長している。

知育面では、基礎学力の確実な定着をめざし、「授業の充実」を図るため、教員の指導力向上に向けて、研究教科を算数と定め、主体的・対話的で深い学びをする児童の育成をめざした校内研究授業、校内研究の充実に努めた。日々の授業においても、少人数習熟度学習を積極的に活用し、算数や国語での学力向上に努めた。

また、子どもたちの読書力向上のため、学校図書館の整備と読書活動の充実（「ひらちゃん読書ノート」の活用）をすすめてきた。今年度、蔵書管理の電子化と192名の児童が区長表彰（平野区22小学校中最多）されるなど、成果を上げることができた。

今後も、子どもたちの基礎・基本の定着には、反復練習が不可欠であり、「家庭学習の習慣化」に取り組んでいきたい。

徳育面では、学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、また、たてわり班を基盤とした仲間づくりに取り組んだ。結果として、学校全体として、一定の「授業規律」が確保されるとともに、6年生が1年生をサポートする姿が定着し、ペア学年で交流し合う時間も増えた。

今後も、望ましい児童集団を実現するため、子どもたちの内面からの成長を促す指導をすすめていきたい。

体育面では、「水泳記録会」「かけあし記録会」「なわとび大会」等の行事を通して、子どもたちの体力づくりに取り組むことで、子どもたちの「運動」へ取り組む意識が高まった。全国体力・運動能力、運動習慣等調査においても、課題であった「反復横とび」、「立ち幅とび」の数値が上昇し、体力合計点も大阪市平均に近づくことができた。また、食育を推進することで、子どもたちの「食」に対する意識が高まり、給食では「残食0」が実現しつつある。

今後も、子どもたちが、自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるように、取組をすすめていく必要がある。

今年度、様々な取組をすすめた結果、**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**、**【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**ともに、目標を概ね達成することができており、これまでの取組が一定の成果を上げているといえる。しかし、依然として、自ら進んで意欲的に学習したり、物事を正しく判断して行動したりする面に課題がある。また、不登校や遅刻、登校しても集団になじめない子どもも見受けられ、家庭との連携を含めた生活指導が不可欠である。

大阪府立 加美南部小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○ 平成29年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。 ○ 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○ 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。 ○ 平成29年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を70%以上にする。 ○ 平成29年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。 ○ 平成29年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができています」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童にとって、安全で安心な教育活動を推進する。 ・安全教育、防災・減災教育を推進する。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事・泊を伴う行事等において、安全で安心な教育環境を確保するために、指導員・看護師等を配置する。 ・交通安全教室（年1回以上）を実施する。 ・地域、関係機関と連携した防災体験学習（年1回以上）を実施する。 	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さを理解させる。 	B

<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の充実を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活指導強調週間」(年3回以上)等を充実させることで、遅刻をしなかった児童の割合を90%以上にする。児童会を中心に「あいさつ運動」(年間10日以上)、「美化点検週間」(年20回以上)実施する。 ・職業講話(年1回)、職業体験学習(キッズニアの活用)等に取り組む。 	
<p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の蔵書の整備に努めるとともに、学校図書館の活性化を図る。 ・地域・進学中学校との交流行事を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の蔵書の分類、データベース化をすすめるとともに、学校図書館の開館のべ回数を年間200回以上、各学年とも、各学期に1回以上、学校図書館を活用した学習を行う。 ・茶道教室、グランドゴルフ、絵手紙教室等を1回以上実施する。 	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>全市共通目標 (小・中学校)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 100%解消 : 目標どおりに達成した ○ 平成29年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。 平成28年度 84.1% 平成29年度 88.0% : 目標を上回って達成した ○ 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 0名 ⇒ 0名 : 目標どおりに達成した ○ 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 1名 ⇒ 1名 : 取り組んだが目標を達成できなかった 	
<p>学校園の年度目標</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。 1学期末: 91.3% 2学期末: 91.8% : 目標を上回って達成した ○ 平成29年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を70%以上にする。 1学期末: 75.5% 2学期末: 78.5% : 目標を上回って達成した ○ 平成29年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化(校内環境)に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。 1学期末: 87.1% 2学期末: 93.3% : 目標を上回って達成した ○ 平成29年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができて」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。 1学期末: 84.5% 2学期末: 89.2% : 目標を上回って達成した 	

取組内容①

- ・学生ボランティア等を活用することで、学校行事（運動会、遠足等）、泊を伴う行事（5年林間学習、6年修学旅行）を子どもにとってより安全に実施することができた。
- ・6月23日（金）、大阪府少年サポートセンターと連携した非行防止・犯罪被害防止教室を実施した。
- ・10月21日（土）、地域防災リーダー、関係機関（平野区役所・平野消防署）と連携した防災体験学習を実施した。
- ・11月1日（水）、平野警察署と連携し、不審者を想定した避難訓練を実施した。
- ・11月17日（金）、平野警察署と連携した交通安全教室を実施した。
- ・1月26日（金）、学校薬剤師を講師に招き、薬物乱用防止教室を実施した。

取組内容②

- ・「生活指導強調週間」（学期に1回）を実施することができている。95%以上の児童が日々遅刻することなく、登校している。
- ・美化点検は、毎週金曜日に健康委員会によって、37回実施した。
- ・あいさつ運動は、運営委員会を中心として、3学期に2週間にわたり実施した。
- ・キャリア教育の一環として、1月24日（水）に、職業体験学習（キzzaニアの活用）を実施した。

取組内容③

- ・校長経営戦略支援予算で購入したパソコン、プリンタ、バーコードリーダーを活用し、学校図書館の蔵書の分類、整理、データベース化等をすすめることができた。
- ・図書館開館は、毎日昼休みと月曜日の放課後、火曜日終日、水曜日の始業前に行っている。学校図書館の開館のべ回数は592回であった。
- ・地域連携の一環として、グランドゴルフ<11月15日（水）>、茶道教室<11月27日（月）>、絵手紙教室<12月5日（火）>を実施した。
- ・小中連携の一環として、11月21日（火）に、加美南中学校体験授業を実施した。また、3月7日（水）に、部活動見学を実施した。

今年度、大阪市教育振興基本計画における最重要目標（①子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現の達成に向けて取組をすすめた結果、年度目標においては、①については、**8項目中7項目**を、目標を上回って達成した、または、目標どおりに達成することができた。

年度目標の達成に向けた取組内容（3施策）については、取組内容の指標をほとんどすべて達成することができた

次年度への改善点

子どもの規範意識・あいさつの励行等は確実に向上している。子どもは一定落ち着いた状況であり、学校安心ルールを活用した生活指導が機能していると言える。

社会問題にもなっている「いじめ」についても、油断することなく、「いじめを許さない」学校をめざして、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めるとともに、今日的課題である携帯電話・スマートフォンの使用方法等については、家庭や進学中学校とも連携して、指導をすすめていくことが不可欠である。

今後も、交通安全をはじめ、学びやすい校内環境の整備に努めるとともに、子どもにとって、安全・安心な教育環境づくりに取り組んでいく必要がある。

取組内容①～③の次年度への改善点は以下のとおりである。

- ① 今後も、登下校の交通安全指導をはじめ、日常的な安全点検等を充実させることで、子どもにとって安心・安全な教育環境づくりをより一層すすめていく必要がある。
- ② キャリア教育をより推進していくために、職業講話等、多彩な取組を企画する必要がある。
- ③ 子どもたちの読書活動をより充実させるためにも、すべての学級において、より積極的に学校図書館を利用した授業や活動に取り組んでいくことが大切である。

大阪市立 加美南部小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと) ○ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。 ○ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 8 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。 ○ 平成 29 年度の小学校学力経年調査 (校内調査) における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ○ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である (反復横とびと立ち幅とび) の平均の記録を、前年度より 3 ポイント向上させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 29 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75% 以上にする。 ○ 平成 29 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90% 以上にする。 ○ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度より向上させる。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業 (TT・習熟度) 等の指導法の研究や指導力の向上に取り組む。 ・放課後を活用した学習機会をつくる。 ・学習意欲の原動力となる「心」への教育刺激として、すぐれた芸術にふれる機会や社会見学等の機会をつくる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究授業を年間 20 回以上実施する。 ・教育指導員等を指導要請し、研究授業・研究協議を実施する。 ・放課後ステップアップ事業を活用した学習機会を提供する。 	B

<p>・「芸術鑑賞会」（全学年：年1回）や社会見学（3・4・5・6年：年1回）実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童の「わかる・できた」をめざした授業づくりに努める。 ・互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、学習室等で、ICT機器等を活用した学習指導を各学期1回以上実施する。 ・人権にかかわる学習会・講演会等を年1回以上実施する。 	
<p>取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童にとって、学びやすく、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努め、自主的な健康管理及び規則正しい生活習慣の態度を育てる。 ・体育的行事や運動に関わる活動を充実させて、豊かな感性を育むとともに、児童の体力向上を図る。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「救急救命」、「熱中症対策」、「食物アレルギー対応」等の教職員研修を年1回以上実施する。 ・「保健だより」、「えいようだより」を月1回発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめる。 ・水泳記録会、かけあし記録会、ドッジボール大会、なわとび大会等を行う。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと） <ul style="list-style-type: none"> 3年… 100.0 ⇒ 102.6 : 目標を上回って達成した 4年… 94.8 ⇒ 95.9 : 目標どおりに達成した 5年… 97.2 ⇒ 95.9 : 取り組んだが目標を達成できなかった 6年… 96.1 ⇒ 107.9 : 目標を上回って達成した 学校全体… 97.3 ⇒ 101.3 : 目標どおりに達成した ○ 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率5割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。 <ul style="list-style-type: none"> 3年⇒4年… 4% ⇒ 6% : 取り組んだが目標を達成できなかった 4年⇒5年… 9% ⇒ 12% : 取り組んだが目標を達成できなかった 5年⇒6年… 14% ⇒ 3% : 目標を上回って達成した ○ 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率8割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。 <ul style="list-style-type: none"> 3年⇒4年… 50% ⇒ 32% : 取り組んだが目標を達成できなかった 4年⇒5年… 39% ⇒ 31% : 取り組んだが目標を達成できなかった 5年⇒6年… 32% ⇒ 70% : 目標を上回って達成した ○ 平成29年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 <p>平成28年度 66.2% 平成29年度 68.8% : 目標を上回って達成した</p> 	

- 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、前年度より 3 ポイント向上させる。

反復横とび 平成 28 年度 36 回 平成 29 年度 39 回 : 目標どおりに達成した

立ち幅とび 平成 28 年度 127.2 cm 平成 29 年度 152.3 cm : 目標を上回って達成した

学校園の年度目標

- 平成 29 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75%以上にする。

1 学期末 : 84.6% 2 学期末 : 89.5% : 目標を上回って達成した

- 平成 29 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90%以上にする。

1 学期末 : 93.2% 2 学期末 : 95.3% : 目標を上回って達成した

- 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度より向上させる。

平成 28 年度 51.0 平成 29 年度 52.6 : 目標どおりに達成した

取組内容④

- ・校内研修計画に基づき、研究授業を 20 回実施した。
- ・教育指導員（教育委員会指導主事）を指導要請し、研究授業（2 回）、研究協議（2 回）を実施した。
- ・放課後ステップアップ学習会を以下のとおり実施した。
 - 2 年 : 水曜日放課後（24 回、参加児童数 のべ 421 名）
 - 3・4 年 : 月曜日放課後（20 回、参加児童数 のべ 374 名）
 - 5・6 年 : 木曜日放課後（23 回、参加児童数 のべ 166 名）
- ・「芸術鑑賞会」として、12 月 13 日（水）に、「音楽鑑賞会（大阪桐蔭高校）」を実施した。
- ・「社会見学」を以下のとおり実施した。
 - 3 年 : 8 月 31 日（木）、平野図書館、3 月 2 日（金）、大阪くらしの今昔館
 - 4 年 : 6 月 21 日（水）、柴島浄水場
 - 5 年 : 12 月 7 日（木）、朝日新聞社
 - 6 年 : 12 月 8 日（金）、ピースおおさか

取組内容⑤

- ・タブレットの活用については、6 月 19 日（月）・2 月 21 日（水）に支援員による研修を実施した。また、10 月 24 日（火）にタブレットを活用した授業研究を行った。
- ・7 月 8 日（土）、PTA と合同で国際理解教育の一環として、「アフリカ民族音楽鑑賞会」を実施した。

取組内容⑥

- ・5 月 20 日（土）、平野消防署救急隊員を講師に招き、「救命救急」の教職員研修会を、また、1 月 9 日（火）、「食物アレルギー対応」の教職員研修会を実施した。
- ・「保健だより」、「えいようだより」は、月 1 回のペースで発行できている。
- ・8 月 1 日（火）、「大阪市児童水泳記録会」に 42 名の児童が参加することができた。
- ・「かけあし記録会」〈12 月 4 日（月）〉、「ドッジボール大会」（10 月）、「なわとび大会」（2 月）に実施した。

今年度、大阪市教育振興基本計画における最重要目標（②心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓

くための学力・体力の向上)の達成に向けて取組をすすめた結果、年度目標においては、**8項目中6項目**を、目標を上回って達成した、または、目標どおりに達成することができた。

年度目標の達成に向けた取組内容(3施策)については、取組内容の指標をほとんどすべて達成することができた。

次年度への改善点

授業に取り組む態度は全体的に向上してきたが、自ら学ぶ意欲が不足している。現在も行っている放課後ステップアップ学習会の実施、教材配信データを活用した課題作成などの取組を通して、家庭学習を含め、子どもの自主学習習慣の育成に努めていくとともに、すべての子どもの「わかる・できた」をめざした授業づくりに向けて、引き続き、教職員の資質向上にも取り組んでいく。

「朝食を食べている」子どもの割合が高く、校内環境(校内美化)が整っていることは、一定取組の成果が上がっていると言える。子どもの健康・体力の保持増進を図るには、「食育」の推進を含め、規則正しい生活習慣の確立をめざし、家庭とのきめ細かい連携をした健康教育の推進が不可欠である。また、基礎体力については、本年度一定向上したが、大阪市平均をめざしていく。

今後も、日常的な運動習慣づくりを図ることで、子どもの総合的な体力の向上にも取り組んでいくことが必要である。

取組内容④～⑥の次年度への改善点は以下のとおりである。

- ④ 研究授業については、相互参観等が十分にできない現状もあるので、指導案等を充実させることで、研修の充実を図る必要がある。
- ⑤ 情報通信環境の整備とタブレットやICT機器(プロジェクター等)をより積極的・効果的に授業に活用できるよう、研修を重ねていくことが必要である。
- ⑥ 今後も、食物アレルギーの誤食等の未然防止やインフルエンザ等の感染症の感染予防等に努める必要がある。